



2025 年 11 月 25 日

一般社団法人大阪外食産業協会
外国人雇用推進部門長 井上 泰弘

外国人雇用 情報! vol. 28

外国人インターンと歩んだ半年 — 共に学び、共に成長して

このたび、大阪・関西万博に向けて受け入れられた外国人インターンシップ生たちが、半年間のインターンシップ期間を無事に終え、全員がトラブルなく帰国いたしました。

空港で彼らを送り出す瞬間、安堵と同時に、彼らと共に歩んだ日々の積み重ねを思い返し、胸が熱くなりました。慣れない日本での生活や就労に戸惑いながらも、彼らは全員、最後まで笑顔でやり遂げることができました。



2月初旬から開幕までの約2か月間に、日本語学習から始まり接遇マナー、チームビルディング、障害者接遇研修…など、ありとあらゆる研修をスケジュールに組み込み、学んでいただきました。当初、研修はすべて日本でやる予定でしたが、入国許可がおりるまで、研修期間の半分以上の日程は彼らの母国と Zoom で繋いでのオンライン形式で実施することに。その間は日本語や接遇マナーの学習を進めました。ほぼ毎日、一日中画面の前に座って学ばなければならない事は、彼らにとってストレスだっただろうと察します。

それに加え「こんにちは」程度しか日本語を話せない人もおり、言語的な悩みも負担になった結果、来日前にリタイア者が出てしまうのではないか…と内心恐れていたのを今でもよく覚えています。

ところが彼らは日本語や日本文化、そしてキャストとしての心得等を必死に理解して身に付けようと、ストレスなど微塵も感じさせず頑張ってくれました。そしてついに入国許可を告げられた時の、彼らが流した喜びの涙は忘れられません。



来日後も、休む間もなく障害者接遇、チームビルディング、さらにはパビリオンでの現場研修と目まぐるしい毎日を過ごしました。その間も懸命に学び、あっという間に開幕日を迎えたのですが…初日はまさかの雨嵐。いきなりイレギュラーに遭遇した彼らでしたが、それでもめげずに明るくお客様をお迎えできたのは研修の成果だと確信しています。その後、OJT やボランティアキャストとしての活動を通じ、半年間傍らで彼らを見守り続けました。日増しにたくましく成長していく様に、私たち講師陣が逆に元気をもらう日々でした。そして涙、涙の最終日。国籍、背景関係なく抱き合っている姿が感動的で、私たちももらい泣きしてしまいました。

今、彼らはそれぞれの場所で新たなスタートを切っています。将来の目標や夢もさまざまです。しかし皆が口を揃えてこう言っていました。「この万博での経験は一生の宝物」だと。これから彼らには試練も待ち受けているでしょう。しかし今回の学びや成長が心の中で根をはり、彼らが揺るがずに乗り越えていくことを願ってやみません。

無論、彼らが一人も欠けることなく笑顔で完走できたのは、彼らの力だけでなく、パビリオン関係者の皆さまが現場で彼らを温かく受け入れてくださったことも大きな要因です。

現場での挨拶一つ、笑顔一つが、彼らにとって何よりの励ましでした。



万博を経て、私たち教育側もまた、外国人材が持つ可能性と、現場が果たす大きな役割を改めて学びました。今後も ORA 会員の皆さまと連携し、外国人が安心して働き、成長できる環境づくりを共に進めてまいりたいと思います。皆さまの現場での取り組みが、次の時代の多文化共生の礎になると確信しています。



株式会社 Futaba (ORA 賛助会員社)

代表取締役 国定 三恵 (ORA 外国人雇用促進部門会 業務委員)

就労外国人向け企業出張研修や技能実習生の生活指導を含めたトータルサポート、日本人社員向け研修で多数の実績を取めている。

あらゆる国の学習者と触れ合っていく中で、お互いが相手の価値観を理解し認め合うことが大切だと感じ、共に笑い(共笑)、共に成長し(共育)、共に人生を楽しめる(共楽)、多文化共生社会を目指す。その原点に立ち、現在は日本在住の外国人の方々へ言語指導だけではなく、日本の文化、慣習、ビジネスマナーから日常の生活指導まで幅広いサポートを実施している。

